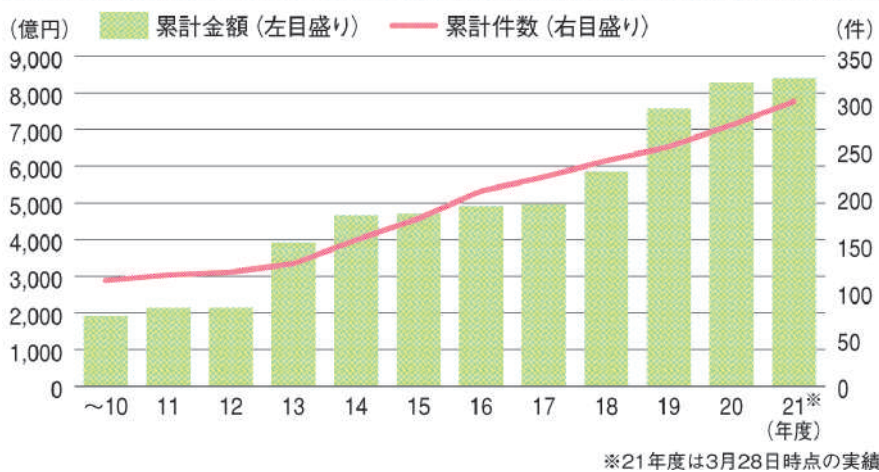




岸田文雄首相(右)がベトナムのファム・ミン・チン首相と首脳会談(昨年11月24日＝首相官邸)

J B I C、有望市場開拓を側面支援

JBICのベトナム向け出融資実績



米国と中国の対立が激化するなか、地政学的にベトナムの重要性が高まっている。ベトナムは建国100周年の2045年に先進国入りを目指しており、50年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）達成も宣言。経済成長と脱炭素の両立を図る同国に日本企業は熱視線を送る。そんな有望市場の開拓を側面支援しているのが国際協力銀行（JICA）。同行はベトナムを「重点国」と位置付け、サプライチェーン（供給網）強化や環境投資に取り組む。日本企業の進出を金融面から後押ししている。（編集委員 川瀬治）

ベトナムは21年1月を目標にしており、エの共産党大会で建國100周年に当たる45年重要となる。太陽光・風力発電の比率を45年目標に掲げた。コロナには40%超まで引き上りの影響はあったものける計画を検討中で、の、21年の国内総生産 脱炭素化を進める。

(GDP) 成長率は通 J B I C の支援金額期で2・6%とプラスの大半は日本の発電案成長を維持。22年の成件向けで、電力供給の長率目標を6・6・5の13%に相当する。安居%とし、コロナ収束後の席駐在員は「00年代初の経済回復を見込む。の黎明期から官民連携力需要の増加が課題(P P P) インフラ投資だ。ベトナムは50年の資を支援してきた」とカーボンニュートラル語る。02年にJ E R

へ立両素

日本企業「商機」広がる

ベトナム 経済成長・脱炭素 両立へ



組みが評価されてお
り、投資先
として魅力
的だ。アン
ケートでも
有望理由と
して『現地

太陽光

ベトナム経済の動向について、JBIICのベトナム業務を統括する安居院徹ハノイ首席駐在員に聞いた。

◇

「ベトナムはJBIICの海外投資アンケート調査で東南アジア諸国連合（ASEAN）的な経済連携への取組

トップの進出先となっています。

「ベトナムはファンダメンタル（経済の基礎的条件）の強さや安定的な経済成長、開放的な経済連携への取組

太陽光・風力先端技術強み

ベトナム経済の動向について、JBICのベトナム業務を統括する安居院徹ハノイ首席駐在員に聞いた。

太陽光

トップの進出先となっています。

安 居 院 徹 氏

JBIC
ハノイ首席駐在員

「長性」をあげる企業が多い。サプライチェーンの強靱化という観点からも製造業の生産拠点は分散化の傾向にあり、日本企業にとって、ベトナムは有望な進出先となっている」

— 21年11月の国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議（COP26）で、ベトナムは50年までにカーボンニュートラルの目標を宣言している」

「現在の発電能力を30年までに約2倍、45年までに約4倍に増やすと同時に、太陽光や風力発電の比率を45年までに40%超に引き上げる計画を検討している。先端技術を持つ日本企業にとってビジネスチャンスだ。足元では屋根置き太陽光発電が注目されており、日本企業が相次いで参入している」

「『法制の運用が不透明』なことを課題にあげる企業が少なくなっている。JBIICとしても日本企業の提案・要望を政府に伝えていきたい。また、経済成長のプロセスとして人件費の上昇は避けられない。生産性の向上などベトナムとともに成長していくという考え方が重要だ」

＊取材はオンラインで実施

JBICのベトナムでの主な中堅・中小企業支援事例(21年度)		
日本の親会社名(所在地)	金額(JBIC分)	協同融資銀行
兼房(愛知)	600万 ^{ドル} 限度	りそな銀行
大裕銅業(大阪)	70万 ^{ドル} 限度	京都銀行
ユウワ(長野)	105万 ^{ドル}	八十二銀行
酒井板金(大阪)	50万 ^{ドル} 限度	関西みらい銀行
抱月工業(大阪)	5000万円限度	関西みらい銀行
第一稀元素化学工業(大阪)	4300万 ^{ドル} 限度	三菱UFJ銀行、三井住友銀行、 日本政策投資銀行
大阪辰岡木材(兵庫)	19万 ^{ドル} 限度	みなと銀行
京写(京都)	250万 ^{ドル} 限度	滋賀銀行
抱月工業(大阪)	7000万円限度	池田泉州銀行
エクストエンジニア(福島)	35万 ^{ドル}	常陽銀行
ソウシンク(大阪)	9万3000 ^{ドル} 限度	関西みらい銀行
イーテック(愛媛)	23万 ^{ドル} 相当円	愛媛銀行
谷口通信社(福岡)	3500万円	福岡銀行
HOLUS(東京)	3000万円	福岡銀行、商工中金
大澤ワックス(愛知)	60万 ^{ドル}	関西みらい銀行
内山工業(愛知)	350万 ^{ドル} 限度	三菱UFJ銀行
京写(京都)	100万 ^{ドル} 限度	滋賀銀行
あけぼの化成(大阪)	1億1000万円限度	りそな銀行
イナバモデル(静岡)	4900万円限度	清水銀行
靄山製作所(大阪)	91万 ^{ドル}	りそな銀行
イマムラホールディングス(佐賀)	12万1000 ^{ドル} 限度	福岡銀行

(2月24日現在)

築にまい進。JBIICは三井住友銀行との協調融資で20年8月にトヨタカローラ南海と総額400万^{ドル}（約4億8000万円）の貸し付け契約を結んだ。

ベトナム自動車工業会によると、21年10月の新車販売台数は前年同期比3%増の21万8734台。足元では新型コロナウイルスは新型コロナウイルス感染症拡大で市場成長は鈍化しているものの、有望市場であることに変わりはない。

腕時計の販売・修理事業を手がけるナカザワ（滋賀県湖南市）に対しては、滋賀銀行との協調融資を20年9月に実施した。協調融資総額は30万^{ドル}（約3660万円）で、同社の販売拡大に必要な資金に充当する。ナカザワは13年にベトナムに進

車販売などサービス分野拡充

出した。同国内で数店舗を展開し、足元では普及拡大が見込まれるインターネット販売にも参画。J B I C の融資をテコに販売体制の拡充を急いでいる。

足元で J B I C は新型コロナウイルス感染症対策の製品を手がける中堅・中小企業の事業展開も後押し。21年5月に八十二銀行と105万ポンド（約1億2600万円）の貸し付け契約を結んだ。同契約に基づき、ユウワ（長野県小諸市）のベトナム法人が新型コロナ抗原検査キット用精密プラスチック成形品の製造・販売体制を整えるのに必要な資金を八十二銀行を通じて供給する。

ベトナム向け出融資累計は10年で件数約2・5倍、金額約3・9倍を超え、302件（3月28日時点、約8401億円（同））に達する。「現地政府との政策対話を通じ投資を促進したい」と安居院氏。今後は日本企業のサプライチェーンの強化や裾野産業を高度化するため、中堅・中小企業の進出や事業拡大を支援する。

J BICは中堅・中小企業のベトナム事業を加速させる。支援件数は累計で約190件に到達。これまで自動車部品や電子部品など製造業が中心だったが、自動車ディーラーや腕時計販売業などサービス分野の支援事例が増加している。J BICは民間の金融機関と連携し、日本の中堅・中小企業のベトナム進出を後押しする考

中小進出後押し

ベトナム向け出融資累計は10年で件数約2・5倍、金額約3・9倍。小企業のベトナム事業えた。

深層
SPECIAL EDITION
断面

